

パンデミックと感染性廃棄物

適切なごみ処理が人や街の環境を守る

地震や台風だけでなく、ウィルスの広がりによるパンデミック(感染症などの大流行)も社会に大きな影響を与える災害のひとつです。パンデミック時に病院で多く発生する注射針や手袋などを適切に処理できないと、ウィルスはさらに拡大する危険があります。シンシアでは感染性廃棄物を徹底した管理下で安全に処理する設備を備えています。目立たない仕事ではありますが「清潔で安全な環境を守る」ことは、災害に強い社会を支える大切な役割であり、私たちの使命です。

■ 感染性廃棄物は専用ルートで直接投入

通常の廃棄物はピット(ごみを一時的に貯め置く場所)に貯め置き、クレーンで攪拌(まぜる)して焼却炉へ投入しますが、感染性廃棄物(感染の危険性のある病原体を含む廃棄物)は、専用ルートを使って直接焼却炉へ投入します。

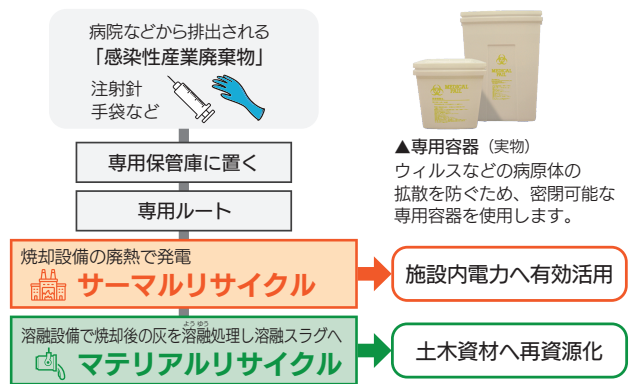


専用容器のままリフターに乗せます。



専用容器を直接焼却炉に投入します。

感染性廃棄物の処理フロー



屋内型処理施設により、雨風や外気の影響を受けず、衛生的で安全な廃棄物処理を行っています。

詳しくは
こちら



▲シンシアHP